

# 卓球競技会実施要項

## 1. 競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び同年度の（公財）日本卓球協会制定「日本卓球ルール」、並びに本大会の申し合わせ事項を適用する。

## 2. 参加区分

(1) 身体障がい者は、下記の競技区分で競技する。

①個人競技は、「卓球競技種目・障がい区分表」の4種目から1種目を選択する。

②団体競技は男女混合で、1チーム3名とし1名の補欠を置くことができる。

※障がい区分番号15を除く。

③視覚障がいについては、視力・視野の程度に関わらず、アイマスクの有無で出場競技を分ける。

(2) 知的障がい者は、下記の競技区分で競技する。

①個人競技は、「卓球競技種目・障がい区分表」の3種目から1種目を選択する。

②団体競技は男女別で、1チーム3名とし1名の補欠を置くことができる。

(3) 精神障がい者は、下記の競技区分で競技する。

①個人競技は、「卓球競技種目・障がい区分表」の3種目から1種目を選択する。

②団体競技は男女別で、1チーム3名とし1名の補欠を置くことができる。

## 3. 服装

(1) 運動に適した服装とする。

(2) ゼッケンは主催者側が交付するものを使用し、競技用服装の背部につける。

## 4. 大会開始前練習時間

受け付けを済ませた後、開会式の合図があるまでは練習を許可する(練習球は各自で用意すること)。

## 5. 招集

(1) 招集は競技場内で行い、競技進行により放送で招集するので競技役員の指示に従う。

(2) 招集完了時間は試合開始の10分前とする。

## 6. 入退場

競技場への入退場は、競技役員の誘導により行う。

## 7. 競技方法

(1) 競技進行は、プログラムのとおりとする。

(2) 使用する球は主催者が用意する。

(3) 個人・団体競技とも原則としてトーナメント方式により勝敗を決める。ただし、参加人数によってはこの限りではない。

(4) 個人・団体競技とも5ゲームズマッチの3ゲーム先取により勝敗を決める(ラージボールは3ゲームズマッチとする)。

(5) 個人競技終了後、団体競技を行う。

(6) 団体競技参加チームは試合ごとにオーダー用紙を提出する。

(7) 個人・団体競技とも3位決定戦は行わない。

(8) 団体競技について、人数を満たさない場合でもエントリーは可能だが、オープン試合とし、敗者(勝ち進めない)とする。

(9) サービスは、得点の合計が2ポイント増すごとに交代する。また双方が10ポイントになった時は、順序を変えず1ポイントごとにサービスを交代する。

(10) 1ゲームごとにコートを変更する。最終ゲームでは、どちらかの選手が5点に達した時点でチェンジエンドとする。

(11) フリーハンド(ラケットを持っていない手の手首より先)がコートに触れても失点としない。ただし、コートを支えて打ったり、テーブルを動かしてはならない。

(12) 身体的理由により、主審の承認を得て、審判員が相手にサービスの仕方について変更を知らせた場合には、サービスの規定を緩和することができる。また、知的障がい者・精神障がい者についても、主審が対戦者の不利にならないと認めた場合、サービスの規定を緩和するこ

とができる。

- (13) 車椅子使用者は、シートから身体を離してプレーをしてはならない。また、プレー中にフットレストが床についた場合も失点とする。
- (14) 車椅子使用者が正しく出されたサービスをレシーブする際、ボールが①レシーバーのコートに触れた後、ネット方向に戻った場合、②レシーバーのコートに止まった場合、③レシーバーのコートに触れた後、どちらかのサイドラインを横切った場合は、ラリーはレットとなる。ただし、「レット」が宣言される前に打球した場合は、そのまま有効となる。

#### 【一般卓球】

- (1) 5ゲームズマッチの3ゲーム先取により勝敗を決める。
- (2) 1ゲームの勝敗は11点先取とする。双方のポイント10-10以降は2ポイントリードした競技者を勝ちとする。
- (3) ネットの高さは、15.25cmとする。
- (4) トスの高さは16cm以上とする。
- (5) 使用球は主催者が用意する。(公財)日本卓球協会公認、ニッタクのプラスチック球(40mm、白球)を使用する。

#### 【ラージボール】

- (1) 3ゲームズマッチの2ゲーム先取により勝敗を決める。
- (2) 1ゲームの勝敗は11点先取とする。双方のポイント10-10以降は2ポイントリードした競技者を勝ちとする。
- (3) ネットの高さは、17.25cmとする。
- (4) トスの高さは16cm以上とする。
- (5) 使用球は主催者が用意する。(公財)日本卓球協会公認、ニッタクのプラスチック球(44mm、白球)を使用する。
- (6) 使用ラバーは、表ソフトとする(3mm以下)。

#### 【STT】

- (1) 5ゲームズマッチの3ゲーム先取により勝敗を決める。
- (2) 1ゲームの勝敗は11点先取とする。双方のポイント10-10以降は2ポイントリードした競技者を勝ちとする。
- (3) 競技領域は、長さ8m、幅6m、高さ2.4m以上とする。ただし、会場によってはこの領域を確保できない場合もある。
- (4) 使用球は主催者が用意する。(公財)日本障がい者スポーツ協会公認プラスチック球を使用する。
- (5) 主催者が用意したアイマスクを着用する。
- (6) 認められた休憩時間、緊急中断を除き、競技は1マッチを通して継続的でなければならない。